

第9回 米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会
教育環境部会議事録（概要）

- 1 日 時 令和8年8月20日（木）午後7時から午後8時30分まで
- 2 場 所 米子市立和田小学校 図書館
- 3 出席者

部会員（敬称略・順不同）

木村 俊二、本池 拓史、岩田 昇、徳永 達樹、中川 慎一郎、三村 大輔、
曾根 大二郎（副部会長）、永島 香織、池本 翼、竹本 法子、
太田 敦弘（部会長）、隠樹 恭衣、渡辺 和幸、西山 智広、本田 早弥香

説明のために出席した職員

【教育委員会事務局】

こども政策課長	永 榮 一博
事務局主査兼指導主事	遠藤 幸子
こども政策課長補佐	井原 聡史
こども支援課担当課長補佐	植田 典子
こども政策課係長	松下 貴洋
こども政策課主任	岡田 壮太
こども政策課主事	佐々木 泰地

【こども総本部】

こども施設課保育リーダー	飯田 聡子
こども施設課保育リーダー	松原 香里
こども政策課係長	砂場 雄一朗

【総合政策部】

交通政策課主事	八田 悠司
---------	-------

4 次 第

1) 部会長挨拶

2) 事務局説明

- ①「よねぎーバス」活用による通学バス運行について
- ②バス通学のシミュレーションについて

3) 協議

- ①現地調査のまとめについて
- ②バス通学の対象者について
- ③自転車通学の考え方について
- ④義務教育学校の通学に係る地域及び保護者説明会について

4) 連絡

5 概要

(1) 次第2) 事務局説明 ①「よねぎーバス」活用による通学バス運行について

- ・学校の統廃合に伴い、通学距離が遠距離化する児童の安全な通学環境を確保するため、「よねぎーバス」2台を活用した通学バス運行の実施を検討している。
- ・登校時間帯は、「よねぎーバス」の一般運行時間外であるため、車両を通学専用便として仕立てる通学専用運行を検討している。
- ・下校時間帯は、「よねぎーバス」の通常の一般運行に児童が乗車する混乗運行を検討している。

(2) 次第2) 事務局説明 ②バス通学のシミュレーションについて

- ・児童の登下校の流れについて、想定される通学パターンの一例を見て、バス通学についてのイメージを共有した。
- ・子どもたちの安全な登下校は、通学路やバス停における保護者や地域ボランティアの見守り活動など、家庭・地域・学校の連携が必要であることを確認した。

(3) 次第3) 協議 ①現地調査のまとめについて

- ・小学生の学年の呼び方について、1～2年生は「低学年」、小学1～3年生は「下学年」であることを確認した。
- ・今後は、認識の相違を防ぐため「小学1年生」のように、具体的な学年を表記することとした。
- ・令和8年6月に実施した現地調査の調査結果の振り返りを行った。

(4) 次第3) 協議 ②バス通学の対象者について

- ・これまでの検討経緯として、教育環境部会で行った意見交換、現地調査の結果及び開校準備委員会アドバイザー吉田博幸氏の講話の振り返りを行った。
- ・通学バスの対象者について、各部会員からの意見を整理した結果、対象学年は発達段階やバスの座席数を考慮し「1～2年生」、対象距離はこれまでの検討経緯から「実測2km以上」という仮の部会案を決定した。
- ・対象エリアの具体的な決定方法について、事務局が他自治体の事例を説明した後、意見交換を行った。
- ・意見交換の結果は、事務局で整理し、次回の教育環境部会で提示予定。

(5) 次第3) 協議 ③自転車通学の考え方について

- ・後期課程(中学生)の通学方法について、これまでの教育環境部会で決定した「全員が徒歩又は自転車とする」という部会案等を再確認した。
- ・今後、「義務教育学校付近の歩行者及び自転車の動線」や「敷地内の通行ルール」等について検討していくことを共有した。

(6) 次第3) 協議 ④義務教育学校の通学に係る地域及び保護者説明会について

- ・目的、開催日時及び当日の流れを確認した。